

横浜市緑区中山中学校区域内におけるワークショップ方式による花と緑の市民まちづくり 地図製作

岩間貴之（町田市公園緑地課） 栗田和弥、麻生恵（東京農業大学造園学科）

1. はじめに

住民参加型まちづくりの一環として、地図づくりが多くの地域で盛んに行われている。

神奈川県横浜市緑区中山中学校区域内で、筆者もスタッフ及び地域住民として参加して行われたこのワークショップは、「花と緑のまちづくり」という視点のもとに、地域の街をみる「ウォッチング」を住民主体で実施し、地域の花と緑の特性を把握、計画条件整理を行い、緑化推進重点地区の抽出と緑化推進基本計画の検討・立案を行った。そして、基本計画に従い緑化活動のメニューの整理、短・中・長期計画の検討、緑化活動方法の検討など、地域の緑化活動の実施計画を立案した。この中で提案された「花と緑の市民まちづくり地区」は、広く地域住民への情報伝達が可能であり、また、地図の蓄積は、まちづくりの基礎資料として、その計画条件整理に活用ができる。地域住民のレクリエーション活動の一環として、花と緑の地図づくりの手法及び実践をとりあげた。

2. 対象地

対象地は市立中山第一・中山第二・上山小学校の通学圏を含む中山中学校区約6km²、人口約1万人である。神奈川県横浜市緑区の中央に位置し、南部には県立四季の森公園を中心に樹林が残っており、北部の地区境界には恩田川が東西に流れている。この中間の平坦地に市街地が広がっている。市街地は戸建住宅を中心に開発され、今後地域住民による緑化には最適な地区といえる。

3. 経緯

1994～95（平成6～7）年度に行われた「都市緑化基金の活用による民有地等の緑化事業に関する調査」は「住民主体の民有地緑化推進方式の確立」を最終的な目標とし、将来的により精度の高い民有地緑化を全市的に展開する際「手引き」となり得る。「実施モデルと実施に至るまでの手法を調査段階で提案すること」を目的として行った調査である。ワークショップ方式で行ったこの調査の中でソフトウェアの実施プログラムとして「花と緑の地図づくり」が提案されたものである。

以下に「都市緑化基金の活用による民有地緑化の緑化事業に関する調査」の概要を記す。

3.1 第1回ワークショップ

「なかやま・緑ウォッチング」

地域住民の公募によるワークショップ「緑ウォッチング」「ガリバーマップづくり」により、地域の緑化の特性を共有、課題の抽出を行った。結果として、①地域の「気になる」緑の多くが民有地であること、②公有地、民有地に関係なく、地域の緑として認識していること、③緑の質（管理の状況等）について敏感であること、④公共の緑に対する要望は質・量共に高く、現状の改善のために自主的な緑化を行いたいという要望も強いこと等が明らかになった。（95.7.20に実施）

3.2 第2回ワークショップ

「なかやま・ふれあい・花いっぱい集い」

第1回ワークショップの結果をもとに、「緑の名場面」と題し、地域住民の思い描く理想像を集約し、「緑の将来像」の共有と、それに対する事業計画の検討を行った。結果として、今後展開すべき多様な事業メニューが抽出された。(95.11.9に実施)

3.3 第3回ワークショップ

「なかやま・ふれあい花いっぱいのもちづくり」

第2回ワークショップの結果をもとに、各事業の具体的な実施方法や役割分担、1996(平成8)年度の事業スケジュールの作成を行った。(96.2.19に実施)

1996(平成8)年度は、第3回ワークショップをもとに、沿道緑化や中山駅前の花壇作りの他「花と緑の地図作り」「花ブレンド作り」など多様な活動が行われている。その実績は、1996(平成8)年11月に第16回緑の都市賞・地域緑化部門で「審査委員長奨励賞」を受賞した。

4. 「花と緑の地図づくり」

4.1 目標の設定

目標の設定に当たっては、以下の点を考慮し設定した。

①地域住民の緑化の相互意識の向上。

①緑化活動の作業図及び仕様書となり得ること。

4.2 実施内容

①アンケート調査

広く地域住民からの花や緑に関する情報の収集、活動の広報、また今後実施される、なかやま・緑ウォッチングのための予備調査として実施した。また、あわせて「花と緑の地図」の名称も募集した。アンケートの配布・収集方法としては、1つ目は、地域住民に対して自治会の回覧板を通して配布。回収は各自治会館に設置した花いっぱいポストを通して行った。2つ目として、区域内に4校ある公立小中学校を対象に教室毎に配布、回収を行った。配布枚数は3,100部であった。

結果として、得られた情報数は75で、配布した季節らしく「ウメ」や「コブシ」といったものや、「商店街を花と緑でいっぱいになりたい」等の情報が得られた。地図の名称募集では「フラワーパレット」等30の情報が得られた。(96.4.1に配布)

②なかやま・緑ウォッチング緑の少年団編

神奈川県立四季の森公園を中心に中山緑の少年団とその父兄を対象に、第2回なかやま・緑ウォッチングを行った。

実施内容としては、3班に分かれて花・緑ウォッチングとその成果をガリバーマップに表現した。

結果として、参加者は36名で、うち小学生の参加者は21名であった。情報数として45のステキな花や緑に関する情報が得られた。また、各班毎にルート名「ななくさ小径」「すごい花いっぱいのハードな道」「小さな町探検」が付けられた。これより、参加した子供のは緑というよりはむしろ花に興味を示していたといえる。

このウォッチングの特徴としては、子供の視点での情報の抽出と、環境学習プログラムの一環として行ったことである。(96.5.11に実施)

③花と緑の地図づくりワークショップ

区域内上山町を中心にダイレクトメール及び、小中学生に募集をかけて、第3回なかやま・緑ウォッチングを行った。実施内容としては、4つの班に分かれてのウォッチング、ガリバーマップ作り及び旗揚げアンケートを行った。旗揚げアンケートは、参加者全てに最大限の参加の機会を作り出す方法として実施し、「地図の意匠」「中山の花や緑のイメージ」等に関して議論を行った。

結果としては、参加者は、12名で、得られた情報の中にハンギング・バスケット（柵に、るしたプランター花壇）があった。また、地域が主に住宅街であったことから、プランターの草花が多く見受けられ、中には近隣の家々の花や緑が競い合って咲いているものも多く見られた。旗揚げアンケートでは、参加者全員が一方通行でなく、会場全体の意見の有様が参加者一人一人に伝わり、なかやまの街の花や緑についての実態や将来について話し合うことが出来た。（96.6.22に実施）

4.3 地図の製作作業

内業である地図の製作作業について、目標、方針に従い以下の方法で行った。

①A2版白地図に今までにアンケート、ワークショップを通して得られた情報を情報提供先別に記した。次に②得られた情報を月別に記した。そして③月毎に重点地区を絞り込み地図を作成した（図1～図4）。

4.4 「花と緑の市民まちづくり地図」の意匠

作品はパネルに表現しているが、その意匠の意図について以下に解説する。はじめに①地図の名称「なかやまフラワーパレット」はアンケート調査の結果を中心に決定した。②地図は最終的な目標として、地域住民の緑化に対する相互意識の向上にあることから、視覚的にも理解しやすくまた、デザインも一般向けを目指した。そして、緑化活動の基本区にするという目標から第2回ワークショップで提案された「緑の将来像」を活用した。

5. まとめ及び今後の展開

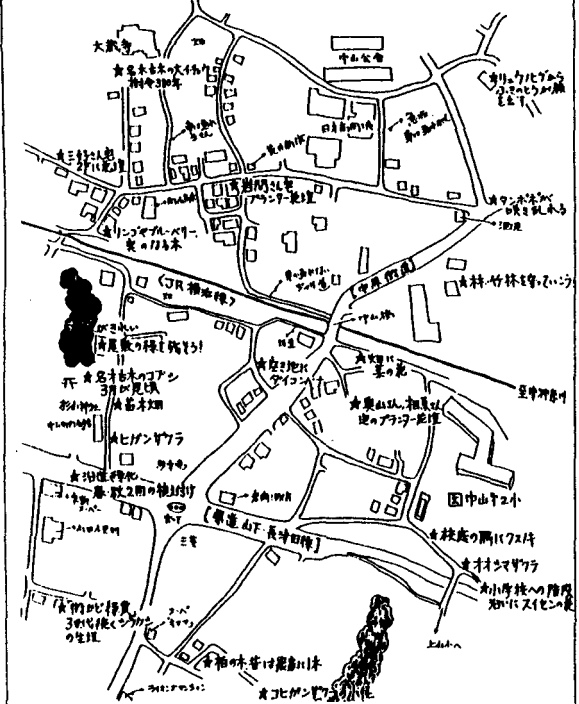
以上、これまでに行った花と緑の地図づくりの手法及び実践について有効だった点をまとめると、①参加者の殆どが、ワークショップの経験者であり、潜在的に能力が高かったこと。また、その中で、旗揚げアンケートのような新しい手法を取り入れ、関心度を高めたこと。そして、②ワークショップのウォッチングを含め3時間程度の開催時間が、適当であったことさらに、③市職員の参加があり、地域住民と行政との間で、なかやまの街の花や緑の実態や将来についての意見や考え方を共有できたこと等が有効な点としてあげられる。

そして最後に、今後の展開について、花と緑のまちづくりへつなげていくための点をあげておくと、①ワークショップを継続的に開催して、地域住民主体の花と緑のまちづくりを、計画的に進めていき、②「花と緑の市民まちづくり地図」の活用も含め、より多くの地域住民の参加を募り、地域に深く根ざした活動を展開していく。さらに③住民同士のふれあいや活動を演出できる人材の活動を社会的に支援していくことが必要であり、それによって花と緑のまちづくりの実践が今後の本当の意味での住民主体の地域づくりとなる。

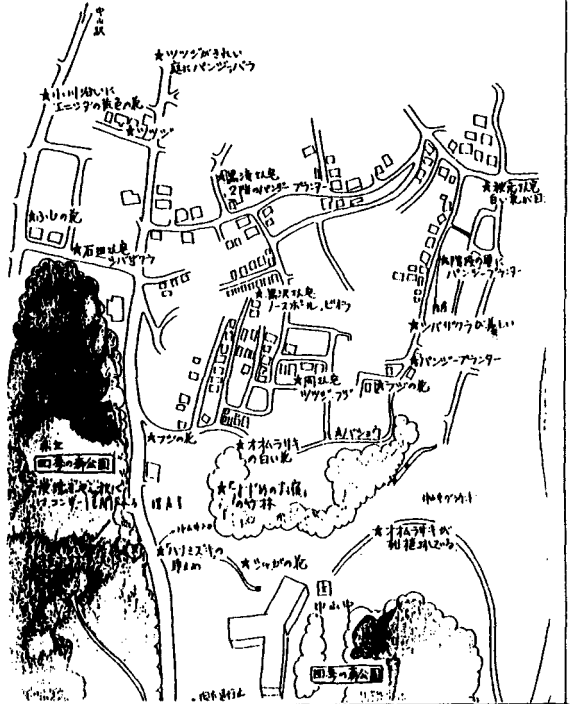
参考・引用文献

- 1)小田嶋鉄朗、藤田隆之(1996):平成8年度都市緑化基金等連絡会報告要旨(資料)
- 2)市民ランドスケープ研究会(1996):市民ランドスケープの創造、(公害対策技術同友会)

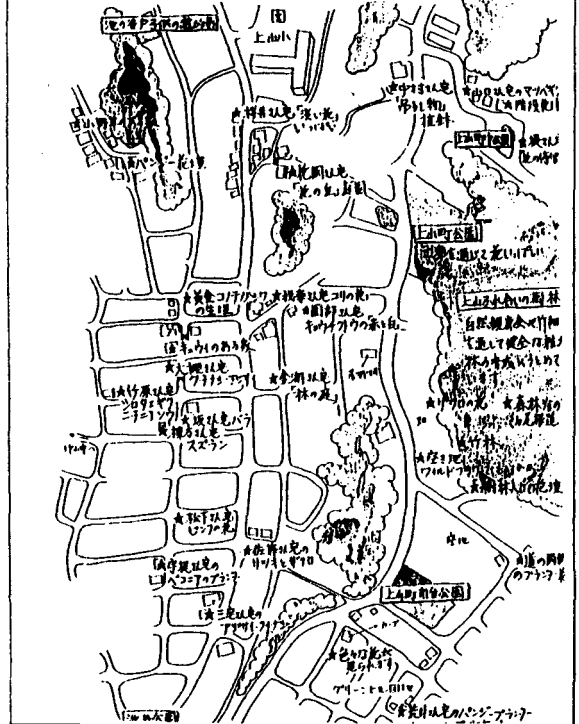
4月 桜と名木マップ 桜の名所が多いこの地域は、見頃の桜4色の見頃情報を見ることができ、また、名木や古木の目録は、樹齢50年・100年超の古木やコナラが、地域のランドマークになっている。春の訪れ・見頃の桜・桜の2週間前がピークで、毎年2000人以上の人が訪れて観賞が行われている。



5月 ツツジとフジと四季の森マップ この地域の中心にある四季の森公園の公園は、5月の第一に目録し、季節ごとに咲くツツジやフジの花の心をお楽しみください。新しくできた四季の森公園は、「エコー」のりんごの森1などの面積が大きく植えられています。日曜日の夜間、パンジーなどのプランターで飾られています。



6月 花壇とふれ合いの樹林マップ 花壇の中心に咲いている花壇（上とふれ合いの樹林）は、この地域最大の花壇の中心に咲いている花壇です。花壇の中心に咲いている花壇は、花壇の中心に咲いている花壇です。上とふれ合いの樹林は、上とふれ合いの樹林です。



6月 街の花と緑マップ 花壇の中心に咲いている花壇（上とふれ合いの樹林）は、この地域最大の花壇の中心に咲いている花壇です。花壇の中心に咲いている花壇は、花壇の中心に咲いている花壇です。上とふれ合いの樹林は、上とふれ合いの樹林です。

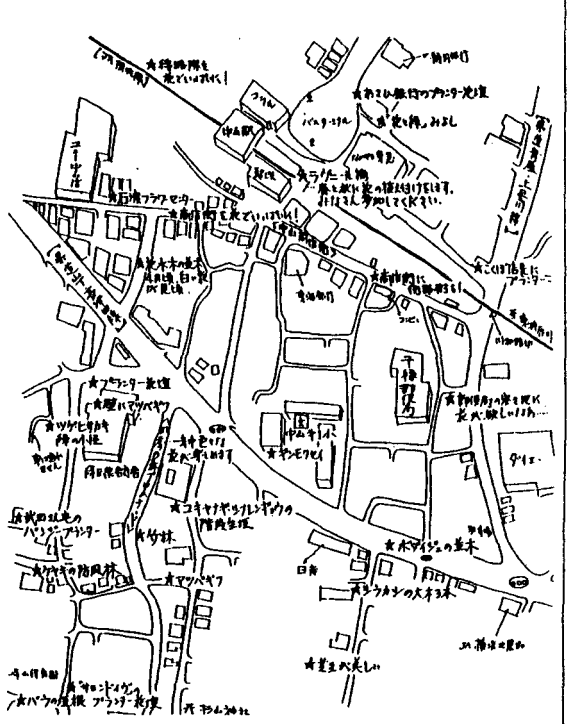


図1～4 (花と緑の市民まちづくり地図)